

【2022年6月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が22冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『〈叱る依存〉がとまらない』	村中直人著	紀伊國屋書店	2022年	141.6ム オレンジ	「叱る」可能性のあるすべての人のために書かれた本。叱るという行為の本質を科学の知見や社会で起きている出来事をもとに見つめ直し、叱る依存を回避するためのヒントを提供する。
『[新版]ジェンダーの心理学 —「男女」の思いこみを科学する—』	青野篤子、土肥伊都子、 森永康子著	ミネルヴァ書房	2022年	143.1ア オレンジ	「ジェンダー・ステレオタイプ」はどのようにつくられ、どのように心の中で働くのか。社会心理学の様々な領域での研究を紹介し、ステレオタイプといかに向き合うかを考える。
『ソ連兵へ差し出された娘たち』	平井美帆著	集英社	2022年	210.7ヒ アオ	敗戦により満州国に取り残され、集団難民生活に入った開拓団の人たちを守るため「接待」と称してソ連兵のもとへ差し出された女性たちの記録。
『女性の参画が政治を変える —候補者均等法の活かし方—』	辻村みよ子、三浦まり、 糠塚康江編著	信山社	2020年	310.4ツ アカ	政治分野の男女共同参画を実現し、男女がともにつくる民主主義を展望するために開催されたシンポジウムをもとに編集。多様な性に関わった代表のあり方を探る。
『身近に考える人権 —人権とわたしたち—』	高井由起子編著	ミネルヴァ書房	2022年	316.1タ アカ	人権を身近な問題として考察できるように、女性・子ども・高齢者など、主だった人権問題を事例も交えて詳説する。
『アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？ これからの経済と女性の話』	カトリーン・マルサル著 高橋璃子訳	河出書房新社	2021年	331マ アカ	ジェンダー平等が実現しない背景には、経済のしくみに問題があるのではないかと。フェミニスト経済学の考え方をベースに、女性を排除してきた既存の経済学の考え方に挑む。
『世界少子化者 子供が増えれば幸せなのか』	毎日新聞取材班著	毎日新聞出版	2022年	334.3マ アカ	世界各国の少子化に悩む国、対策を講じて歯止めをかけた国の社会観察とそこに住む人たちの声から日本との相似と差を考えるとともに、少子化は悪いことなのかを再考する。
『女性リーダーが生まれるとき 「一皮むけた経験」に学ぶキャリア形成』	野村浩子著	光文社	2020年	336.3ノ アカ	社内のトップランナーとなった女性たちは、未だ職場に残るジェンダー・バイアスの壁をいかに乗り越えたのか。日独米の女性役員の成長経験を辿り、それを可能にした職場環境にも言及する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『シングル女性の貧困 —非正規職女性の仕事・暮らしと社会的支援』	小杉礼子、鈴木晶子、 野依智子編著	明石書店	2017年	367.2コ ミドリ	インタビューや調査から浮かんだ、貧困と孤立と隣り合わせの働きづらさ・生きづらさを抱える非正規職シングル女性たちの姿。社会的支援が編み出されるきっかけとなることを願った一冊。
『失敗しないための ジェンダー表現ガイドブック』	新聞労連ジェンダー表現 ガイドブック編集チーム著	小学館	2022年	367.2シ ミドリ	現役新聞記者たちが新聞記事の実例やウェブ表現、性暴力報道などを取り上げ、問題点を指摘。誰もがジェンダー表現のリテラシーを高めるために役立つ手引書的な本。
『フランスに学ぶジェンダー平等の推進と 日本のこれから パリテ法制定20周年をこえて』	富士谷あつ子、 新川達郎編著	明石書店	2022年	367.2フ ミドリ	意思決定の場におけるジェンダー平等を目指し、日本におけるジェンダー不平等の克服、フランスにおけるパリテ法の成果と課題、各国の政治分野の男女共同参画などを論じる。
『DV後遺症に苦しむ母と子どもたち —家族「面前」暴力の深層』	林美保子著	さくら舎	2022年	367.3ハ ムラサキ	DVが後の人生にどれほど影響を及ぼすのか、どんな後遺症があるのかを、面前DVを受けていた著者自らの体験や被害経験者への取材を通して伝える。
『ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方 ワーク・ライフ・バランスと持続可能な社会の 発展のために』	多賀太著	時事通信社	2022年	367.5タ ミドリ	性別にかかわらず誰もが希望をもって生きられる社会にしていくために、男性たちには何ができるのか。日本の男性のこれまでの働き方と暮らし方を振り返り、ポジティブな視点から提案する。
『おふたりさま夫婦、老活はじめました。 ～どうなる!? 私たちの老後～』	堀田あきお&かよ著	ぶんか社	2021年	367.7ホ ピンク	子供のいない夫婦がどうすれば安心して老後を過ごせるか—保険の見直し、遺言書の作成、老人ホームの見学など、自分にとって「いい死」を迎えるための老活終活コミックエッセイ。
『性的人身取引 —現代奴隷制というビジネスの内側』	シドハース・カーラ著 山岡万里子訳	明石書店	2022年	368.4カ オレンジ	世界各地に赴いた現場での潜入調査や被害女性へのインタビューを通して、性的人身取引という巨大産業の実相に迫るとともに、実践的な解決策を提示する。
『シングルマザー、その後』	黒川祥子著	集英社	2021年	369.4ク ピンク	世界で一番働いているのに、世界一の貧困率に喘いでいる日本のシングルマザーたち。6人のシングルマザーの生きざまを紹介し、制度の不作為を訴えるルポルタージュ。
『大丈夫だよ 女性ホルモンと人生のお話111』	高尾美穂著	講談社	2022年	495タ オレンジ	生理、妊娠・出産、更年期など女性が人生の様々な場面で悩みに直面したとき、大丈夫だと思う女性ホルモンについての正しい知識と、女性が楽に生きていくためのヒントを伝授する。
『更年期、私のトリセツ 無理をしない、がんばらない。 閉経後までを考える更年期の解説書』	対馬ルリ子監修	つちや書店	2022年	495.1ツ オレンジ	女性ホルモンの知識や更年期の症状と改善法、体と心のメンテナンスやヘルスケアの方法など、更年期対策を紹介する。
『#生理の貧困 —#PeriodPoverty』	#みんなの生理(福井みのり)、 ヒオカ、吉沢豊予子、 田中東子他著	日本看護協会出版会	2021年	495.1ミ オレンジ	行政等による取組の半面、ハッシングも起きている「生理の貧困」問題を、経済・社会学・医学・教育・ジェンダー・メディアなど様々な側面から考察する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『働く女性のヘルスケアガイド おさえておきたいスキルとプラクティス』	荒木葉子、市川佳居編著	金剛出版	2022年	498.8ア オレンジ	健康経営の鍵となる女性の健康推進。働く女性が直面する各ライフステージでの健康や労働の課題を取り上げ、ケーススタディや企業事例などにより解説する。
『男らしく、女らしくがいいの？ ～ジェンダー～』	NHK Eテレ「u&i」制作班編	ほるぷ出版	2022年	EI ☆	自分の本当の気持ちを大事にすること。そして、そうした気持ちをみんなで認め合い、支え合うことの大切さを学ぶ絵本。
『みんなで考えよう！「性」のこと 同意って何だろう？ 自分のきもちと相手のきもち』	田代美江子監修 アルハ編著	金の星社	2022年	K367.9タ オレンジ	性的な行動もふくめて、一人ひとりの人権や権利が大切にされ、対等・平等な関係の中でこそ実現する「同意」。すてきな関係をつくるために「伝え合う」ことについて考える。